



知床世界自然遺産を維持管理する取組



世界自然遺産地域(陸域)の約95%を占める国有林を保護林(森林生態系保護地域)として管理しています

外来種進入状況を含む淡水魚類の生息状況調査、植生のモニタリング、治山ダム改良などに取組み、定期的にユネスコ(UNESCO)に報告しています

知床世界自然遺産の概要と地区区分

遺産地域面積 約71,100ha
(うち海域面積約22,400ha)
国有林面積 45,996ha

遺産地域(A地区) 将来にわたり厳正な保護管理を図る地域

遺産地域(B地区) 自然環境の保全と遺産地域の価値を損なわない持続可能な観光や漁業活動等の利用との両立を図る地域

サケ科魚類の遡上・産卵環境を改善しています



改良前



④イウハツ川
H21改良済



改良3年後(H24年)

知床世界自然遺産地域科学委員会河川工作物アドバイザー会議を事務局として運営しています。魚類の遡上を阻むダムを改良し、産卵環境を整える「川づくり」と遡上数調査に取り組んでいます

北海道森林管理局
知床森林生態系保全センター

野生生物を記録しています

自動撮影カメラを使用した
中大型哺乳類等のモニタリング
を行っています
・斜里町真鯉地区(オベケブ林地)
・羅臼川春古丹地区



森林植生の被害を調べています

樹皮や植生を食べるエゾシカの
影響や保護柵内の植生回復状況など
平成15年から毎年調査しています



◆標高別調査区 □1ha植生保護柵



②ルシャ川
道有地
2基改良済

ルシャ地区

④イウハツ川
6基改良済

⑤ホロツ川

⑥アンベツ川

⑦オショコナイ川

⑧チャラツ川

⑨オンネツ川

⑩オシバオマ川

⑪オシバオマ川

⑫オシバオマ川

⑬オシバオマ川

⑭オシバオマ川

⑮オシバオマ川

⑯オシバオマ川

⑰オシバオマ川

⑱オシバオマ川

⑲オシバオマ川

⑳オシバオマ川

㉑オシバオマ川

㉒オシバオマ川

㉓オシバオマ川

㉔オシバオマ川

㉕オシバオマ川

㉖オシバオマ川

㉗オシバオマ川

㉘オシバオマ川

㉙オシバオマ川

㉚オシバオマ川

㉛オシバオマ川

㉜オシバオマ川

㉝オシバオマ川

㉞オシバオマ川

㉟オシバオマ川

㊱オシバオマ川

㊲オシバオマ川

㊳オシバオマ川

㊴オシバオマ川

㊵オシバオマ川

㊶オシバオマ川

㊷オシバオマ川

㊸オシバオマ川

㊹オシバオマ川

㊺オシバオマ川

㊻オシバオマ川

㊼オシバオマ川

㊽オシバオマ川

㊾オシバオマ川

㊿オシバオマ川



どんぐりを調べています
動物の重要なエサとなる
ミズナラの堅果の結実調査を
毎年行っています
(平成元年から)



シマフクロウを見守っています

希少な野生生物の保護に資するため
シマフクロウの生育状況などを巡視
しています



オショロコマを調べています

地球温暖化の指標となる
オショロコマの生育状況などを
調査し、世界遺産委員会に
報告しています



●●の河川うち①~④2の42河川で実施

改良済 改良済の河川工作物

改良中 改良(検討)中の河川工作物

エゾシカを捕獲しています

採食圧による急激な植生の変化や希少種植物群落
の衰退が懸念されるため、遺産周辺地域において
罠の設置や車庫からの狩猟
(モバイルカリング)のほか



町や地元農場と協働して
「ジビエ」としての
活用に取組んでいます

地方自治体の取組と連携しています

UNESCO世界遺産委員会(World Heritage Committee)から特に注目
されている「ルシャ地区(道有地約1,200ha)」において、北海道庁
が取組んでいる3基のダム改良の検討と連携し、その下流で漁業者
の通行とサケ科魚類の遡上を両立させる、「河床路」の実証実験に
取組んでいます

林野庁 北海道森林管理局

<http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>